

まなびすと久喜

平成 27 年 8 月 1 日 発行

第 10 号

編集：久喜市生涯学習推進部
発行：久喜市教育委員会

サークル紹介

プアリリア リノ



栗橋地区

連絡先 プアリリア リノ 鶴村
TEL 090-5331-7862

私達プアリリア リノは、カレイナニ早川先生に師事するカレイプアリリア海沢先生のご指導のもと、フラを通して「心身ともに健康で美しく」をモットーに月3回栗橋コミュニティセンターくぶるで楽しく練習に励んでいます。発足は2007年にさかのぼりますが、現メンバーは昨年12月からのほとんどが初心者で、和気あいあいとした雰囲気笑顔が絶えないチームです。
先日は栗橋文化芸術フェスティバルに於いて習得曲数曲ながら、初舞台を踏ませていただきました。日頃の練習の楽しさとは違い、緊張感と興奮のなか、皆様に練習の成果を観ていただく喜びを味わうことができました。今後は7月の栗橋まつり、豊田ふるさと祭り、11月の栗橋文化祭への参加を予定しています。また、フラを通してのボランティアも行いたいと思っておりますので、お声掛けいただければと思います。フラに少しでも興味をお持ちの方は、是非一度見学にいらしてください。

鶯宮催馬楽神楽保存会



鶯宮地区

連絡先 鶯宮催馬楽神楽保存会
正式名) 土師一流催馬楽神楽保存会
代表者 矢田ヶ谷 栄治
久喜市鶯宮1-7-28
TEL 0480-58-0530

鶯宮神社に伝わる催馬楽神楽は関東神楽の源流と言われています。昭和35年3月1日に埼玉県の指定を受け、昭和51年5月4日には日本神楽の部で第一号にて国指定重要無形民俗文化財に指定を受けました。わが久喜市の誇る伝統文化財です。
昭和20年頃より衰退し始め、神楽師は白石国蔵氏ただ一人になってしまい、神楽ができなくなりました。そこで、針谷健次さんが昭和30年8月1日に町の若者達を集め、神楽を無くしてはいけない復興させようと呼びかけました。最初は若者達も50名位集まりました。しかし、一ヶ月も経たない中に7人になってしまいました。その7人で復興したわけです。現在は、私、矢田ヶ谷が一人となってしまいました。
また、次代を担う後継者について、市主催の伝承教室や鶯宮中学校では、昭和55年から郷土芸能部をつくり、保存会員が現在も指導に当たり、今年で35年目となりました。
現在保存会員は15名ですが、その内5名は元中学校芸能部員出身者です。伝承教室は、市の他に鶯宮神社でも行っています。

市民の暮らしに役立つ 身近な図書館を目指して



久喜市立中央図書館長 太田 匡

最近、インターネットの普及により図書、雑誌等の読書離れが進んでいます。出版不況で本が売れない、昔からあった街の本屋さんがどんどん廃業している等の話題が新聞、テレビ等によく取り上げられています。現在、図書館に勤務していることから、特に敏感となっているせいかもしれませんが、実際、本市でも、入館者の人数等が、市内4館(室)を比較して前年度に比べ、減少或いは僅かな増加しかなく、図書館職員一同何とか1人でも多くの方に利用していただければならないと努力しているところです。

近では夏休み期間中に、満席となる日が全くありません。このように少子化による若者の人口減少及びインターネットの普及による読書離れが進んでいる中、図書館として、利用率の拡大を図る為にはどうしたら良いか、本年度見直しする「子ども読書活動推進計画」の中でも反映させてまいりたいと考えています。

また、このことは、同時に日本全体の社会問題である少子化の現実とも密接に結びついており、児童生徒数の減少に伴い、特に中央図書館には他の3館(室)にはない、学習等にも活用できる読書室があります。10年前には夏休みになると、中高校生を中心に満席となり、時期によっては座席のキャンセル待ちをしていた利用者がいたことを思い出します。しかし、最

最後に、強く皆様にお伝えしたいことは、昨年度、ある講習会において講師から「図書館とは皆さんが納めている税金が、還元されていると実感できる施設です。有効に活用しましょう!!」とおっしゃっていたことが今も頭に残っています。

このことは、具体的には、図書館法第17条に規定されている「無料の原則」のことに基づくお話であると考えますが、法律により無料で、年齢を問わず誰もが自由に気軽に利用できる、暮らしに役立つ身近な施設が図書館であることをあらためて市民の皆様にご理解いただき、少しでも図書館に足を運んでいただけたら幸いです。

久喜市生涯学習施設紹介

- ★所在地 久喜市菖蒲町新堀 38 (久喜市菖蒲総合支所5階)
- ★電話 0480 (85) 1111 (内線372)
- ★アクセス JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅西口から朝日バス「菖蒲仲橋」行き 終点下車、徒歩10分
- ★休館日 土曜日、祝日、年末・年始
- ★開館時間 9:00 ~ 17:00



本多静六記念館

菖蒲地区



- ★所在地 久喜市青毛 753 番地1
- ★電話 0480 (25) 1010
- ★アクセス JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅東口から徒歩30分、朝日バスで10分青葉団地行き「県営住宅入口」下車
- ★休館日 第4土曜日、年末・年始
- ★利用時間 9:00 ~ 21:00

ふれあいセンター久喜は、在宅高齢者や障がい者の方々の社会参加・社会活動を図るため、デイサービス事業などの福祉サービスの提供を行うとともに、市民の方々の福祉の推進を図り、市民の相互交流と福祉の向上を目的に設置された施設です。また、二階と三階には、市民の方々にも貸出しできる会議室が6部屋あります。

ふれあいセンター久喜

久喜地区

= 「地域のまつり」に出かけませんか! =

毎年秋に開催される地域のまつりにお出かけください。観るだけでなく、体験・参加もできて子どもから大人まで楽しめる市民参加のイベントです。

- わしのみや コスモフェスタ 【鶯宮総合支所周辺】 10月24日(土) 25日(日)
- 久喜市民まつり 【久喜駅周辺】 10月18日(日)
- 栗橋やさしさ・ときめき祭り 【栗橋文化会館周辺】 11月15日(日)
- 久喜市菖蒲産業祭 【あやめ公園】 11月3日(火)

～久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」を紹介します～

「まなびすとフォーラム」って…

Q1 目的は？

A1 市民の生涯学習活動推進の一環として生活の向上や豊かで住みよいまちづくりを「テーマ」に意見交換を行い、考えを深め合い実践します。内容によっては市行政にも提言します。久喜市生涯学習推進会議・生涯学習推進部主催のもと毎年6月第2週土曜日に開催されます。

Q2 参加者は？

A2 広報「くき」で毎年5月に参加者の募集を行います。高校生、大学生、学校教育・社会教育関係者、児童生徒の保護者、市民大学生、高齢者大学生、ゆうゆうプラザ・地区コミュニティ協議会関係者等一般市民どなたでも参加できます。

Q3 会議スタイルは？

A3 ワークショップ方式で行います。

- ① 10人程度のグループを作り、司会、記録、発表者を決めます。
- ② 「テーマ」に基づき自分の考えを付せん紙に書き、思いや意見を自由に発言し、意見交換を行います。
- ③ 意見を、模造紙にまとめます。
- ④ グループ間の発表を聞き、考えを深め合い、共有します。

今年の「まなびすとフォーラム」は…

6月13日(土) 埼玉県立鷲宮高等学校学生食堂を会場に開催しました。開会行事では、平忠昭生涯学習推進会議議長の挨拶に続き、田中暄二市長、井上忠昭市議会議長、石川忠義県議会議員、稲葉浩久鷲宮高等学校長のご挨拶をいただきました。



開会行事

宮内智生涯学習推進部副委員長のテーマ説明があり、20分科会の各グループで自己紹介の後、司会・記録・発表者を選出しました。各分科会では司会進行のもと話し合いが進められました。初対面同士、最初のぎこちなさも徐々に打ち解け、世代間を超えた熱心な討議が展開されました。



全景

参加者

来賓	9名
高校生	33名
児童生徒の保護者	50名
市民大学・高齢者大学生	53名
教職員・社会教育委員	8名
ゆうゆうプラザ関係者	22名
地区コミュニティ協議会	18名
生涯学習推進会議・推進部	24名
合計	217名

今年のテーマ「コミュニティ豊かなまち」—学校と共に歩む—

自分の考えを書く



- 話し合いの進め方は分科会によって多様、自分の考えや思いを付せん紙に書きます。
- ・コミュニティって何？
- ・「コミュニティ豊かなまち」のあるべき姿は？
- ・「学校と共に歩む」で何をすべき(何をしている)？
- ・現状の問題点は？ 等々

意見交換をする



- 書いたことを基に各自、考えや思いを自由に発表し、意見交換をします。
- ・あいさつの基本は家庭から
- ・ゆうゆうプラザは子ども達と関わりをもつのに最適
- ・自治会の活性化が必要だ
- ・学校の情報が乏しい
- ・防災訓練を学校と一緒にやってみては 等々

まとめる



- 付せん紙に書いた意見、通事項ごとに分類します。
- 表題、小見出し、分科会ごとのまとめを見やすいように表記します。
- まとめ方は、分科会ごとに個性あふれるものとなりました。

発表する



- 抽選で6分科会の発表が決定。高校生も発表者として活躍しました。
- 以下、各分科会で多く取り上げられていたものです。
- ・笑顔で挨拶と声掛け
- ・安心、安全な環境作り
- ・地域の行事に積極的な参加
- ・学校行事への積極的な参加
- ・積極的なボランティア活動
- ・シニア世代の活用

参加者の声

- 様々な世代の方の話や地域の方々の話を聞くことができ、勉強になった。(60代女性)
- 話し合いは苦手だが、発見が多くあった。参加してよかったと思っている。(40代女性)
- 様々な世代の方との交流を大事にし、自分でできることに取り組んでいきたい。(30代女性)
- 世代間を取り払って話し合えるよい場です。(男子高校生)
- 答えが出なくても考えることにすごく意味があった。(女子高校生)

<まとめ>

このフォーラムには、結論はありませんが参加者からは、「すぐできる挨拶から始めたい」、「ゆうゆうプラザに参加する」、「ボランティア活動をする」等、地域の方々とのコミュニケーションを大切に、コミュニティづくりをしていきたいとの声がありました。

一方、学校と地域との情報の共有化、防災訓練等学校行事で交流できる場の設定、学校施設の開放等の声、また多くの方から、「世代間を超えた貴重な体験ができ、有意義な時間であった。また参加したい」の声も聞かれました。

最後に、金子雄司生涯学習推進部委員長より、「どの分科会も活発な意見交換が展開されていた。テーマの共有化が図られ、どの分科会も満足感に満たされていた。今日学んだことを行動につなげ、地域で・学校で生か

してほしい。」と、まとめがありました。

来年こそは『あなたの出番です!!』会場は、栗橋地区です。

なお、フォーラムの概要は、報告書としてまとめられ、市内公共施設や4地区のまつりでの生涯学習ブース、並びに来年2月に菖蒲文化会館(アミーゴ)で開催される久喜市生涯学習推進大会第6回「まなびすと久喜」でご覧いただけます。

今回のフォーラムが今までにない参加者の出席のもと盛会裡に終了しましたが、会場設営・片付け等で鷲宮高等学校の生徒さんの協力が多大であったことに感謝いたします。